

衆議院経済産業委員会ニュース

平成 25.11.1 第 185 回国会第 2 号

11 月 1 日（金）、第 2 回の委員会が開かれました。

1 松島経済産業副大臣から就任の挨拶が行われました。

2 電気事業法の一部を改正する法律案（内閣提出第 1 号）

- ・ 茂木経済産業大臣及び参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
（参考人）東京電力株式会社代表執行役副社長 山口 博君
- ・ 三谷英弘君（みんな）及び塩川鉄也君（共産）が討論を行いました。
- ・ 採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成－自民、民主、維新、公明 反対－みんな、共産）
- ・ 塩谷立君外 4 名（自民、民主、維新、公明）から提出された附帯決議案について、田嶋要君（民主）から趣旨説明を聴取しました。
- ・ 採決を行った結果、賛成多数をもってこれを付することに決しました。
（賛成－自民、民主、維新、公明 反対－みんな、共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

近 藤 洋 介君（民主）

- ・ 電力システム改革はエネルギー基本計画に沿って進められるべきであるところ、重要な電源である原子力エネルギーをどのように位置付けるかについて、茂木経済産業大臣の見解を伺いたい。

丸 山 穂 高君（維新）

- ・ 電気事業法改正案は第 183 回国会で廃案となり、今国会でようやく成立の運びとなったところであるが、これによる電力システム改革プログラムのスケジュールに変更はないのか。

三 谷 英 弘君（みんな）

- ・ エネルギーのベストミックスの在り方を提示したうえで電力システム改革を進める必要性について、茂木経済産業大臣の見解を伺いたい。

塩 川 鉄 也君（共産）

- ・ 発送電分離について、送配電部門の中立性の確保のためには、所有権分離や資本分離まで踏み込んで行くべきではないか。